

# みさと 市議会だより



No. 179

2019年11月15日号

年4回発行

発行 埼玉県三郷市議会

議会は市の

顔

とつなぐ



おおぞらヨガ教室

(セナリオハウスフイールド三郷)

主な内容

## 令和元年9月定例会

- ・ 論点「公共下水道使用料金が変わります」・「地域の  
かたの集いの場 三郷市びれあい館を設置」 . . . . . 2
- ・ 平成30年度決算の審査概要 . . . . . 4
- ・ 市政に対する一般質問 . . . . . 6
- ・ 9月定例会提出議案とその結果 . . . . . 12
- ・ 令和元年第一回臨時会の報告 . . . . . 14
- ・ 議会あれこれ . . . . . 15
- ・ 読者の声 . . . . . 16

9月定例会に上程された議案のうち、特に市民の方々に関連の深い議案が、どのように審議されたか、その要旨をお知らせします。

# 論点 1

## 公共下水道使用料金が変わります

9月定例会  
9/2~24

9月定例会には、市長から「専決処分の承認を求めることについて」など24議案が提出され、原案どおり可決しました。

議案第47号 三郷市公共下水道使用料条例の一部を改正する条例

〈内容〉

公共下水道事業の健全な運営及び使用者の負担の適正化を図るため、下水道使用料の額を改定するための条例です。

▽本会議や委員会では次のような質疑がありました。

**問** 条例改正は、なぜこの時期に行われるのか。

**答** 理由のひとつとして、本市の公共下水道は間もなく50年の耐用年数を迎え、今後、本格的な維持更新事業を行い、近年頻発する大地震等に備え、管渠等の耐震化を進める必要があるためである。

**問** 使用料改定により、下水道事業の財政健全化が図られるのか。

**答** 本来、下水道事業の維持管理等の費用は、下水道使用料で賄うべきものである。本市の下水道事業は、平成31年度予算で一般会計から約16億円もの繰り入れをしている。改定により一般会計への依存

度が下がり、事業運営の健全化が図られる。

**問** 総務省は、公営企業会計移行を推進しつつ、下水道使用料金の基準額を20㎡あたり3000円と定めているが、基準額から離れている場合にペナルティがあるのか。

**答** 本市の使用料は基準額の半分ほどであり、このままでは、建設費・維持管理費の国費内示額などが減額となるおそれがある。

**問** 近隣自治体の改定状況は。

**答** 三郷市では初めてであるが、近隣では、吉川市が1回、越谷市が3回、草加市が3回、八潮市が3回、松伏町が2回行っている。今後、他自治体でも料金改定の動きが見込まれる。

**問** 平均的な家庭の使用料は。

**答** 平均的な家庭では20㎡使用し、改正後は消費税10%込みで2214円の使用料となる。改正前に比較し、1か月1世帯あたりの増加分は619円となる。

(単位:円・税抜き)

公共下水道使用料新旧対照表 (一般用)

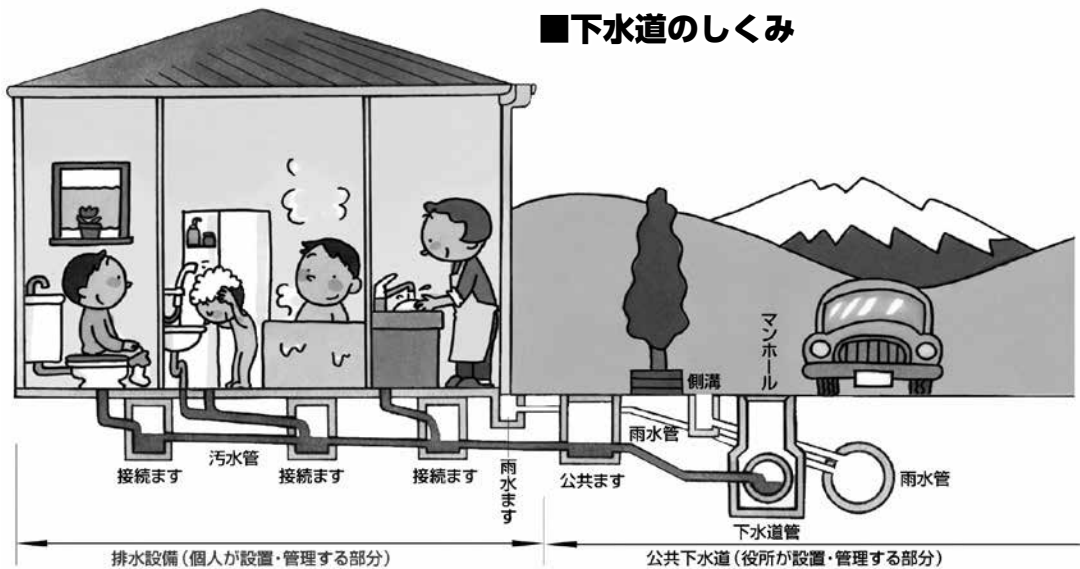
		新	旧
基本料金		973	700
超過料金 排除汚水量 1㎡あたり	10㎡超 30㎡まで	104	75
	30㎡超 50㎡まで	118	85
	50㎡超 100㎡まで	132	95
	100㎡超 200㎡まで	146	105
	200㎡超 500㎡まで	167	120
	500㎡超 1,000㎡まで	195	140
	1,000㎡超	236	170

例) 一般的な家庭では1月あたり20㎡(バスタブおよそ100杯分)使用し、その料金は 基本料金973円+超過料金104円(1㎡あたり)×10㎡分=2,013円 10%の税込では2,214円となる。



下水道管の敷設工事

■下水道のしくみ



**問** どのように改定額を決定したのか。

**答** 下水道審議会を開催し、審議会から「本市では初めての料金改定であり、県内市町の約85%、近隣市町の約80%の平均経費回収率※を踏まえて検討すべき」と答申を受けた。これを受けて、使用者への経済負担を考慮し、使用料の引き上げ率を抑えた経費回収率80%で算定した改定額とした。

委員会の討論では「国は耐震化工事のために予算を配分すべきである。下水道使用料を引き上げて、老朽化した管渠の耐震化の負担を強いるなど、利用者である市民の負担増となることから反対」などがありました。

最終結論を出す本会議では、常任委員長が委員会の審査内容を報告し、採決の結果、議案第47号は賛成多数で可決しました。

※経費回収率 汚水処理に要した費用に対する、使用料による回収程度を示す指標。下水道の経営は、経費の負担区分を踏まえて汚水処理費全てを使用料によって賄うことが原則となっている。

論点  
2

地域のかたの集いの場  
三郷市ふれあい館を設置



名称	位置
ふれあいの郷下新田	高州一丁目112番地
戸ヶ崎ふれあいひろば	戸ヶ崎3200番地1

**問** ふれあい館は、他の文化施設から見て、新たなジャンルと考えてよいのか。

**答** 現行の施設とは、若干異なると思われる。地区文化センターに類似しており、地域の方々が利用しやすいよう、「まんまらまは」での申し込みは導入しない。

議案第44号 三郷市ふれあい館設置及び管理条例  
〈内容〉

旧戸ヶ崎保育所及び旧下新田保育所の跡地を活用して、市民交流を促進し、活力ある地域社会の形成に資するため三郷市ふれあい館を設置し、適正な施設管理を行うための条例です。

▽本会議や委員会では次のような質疑がありました。

**問** お茶を入れるなど調理室も必要かと思うが、会議室に設置する予定か。また、広場の使用料が無料となっているが、施設利用者に限られるのか。

**答** 各施設ともコンロなどを準備しているところである。また、広場の利用については、どなたでも気軽に無料で使える場と考えている。

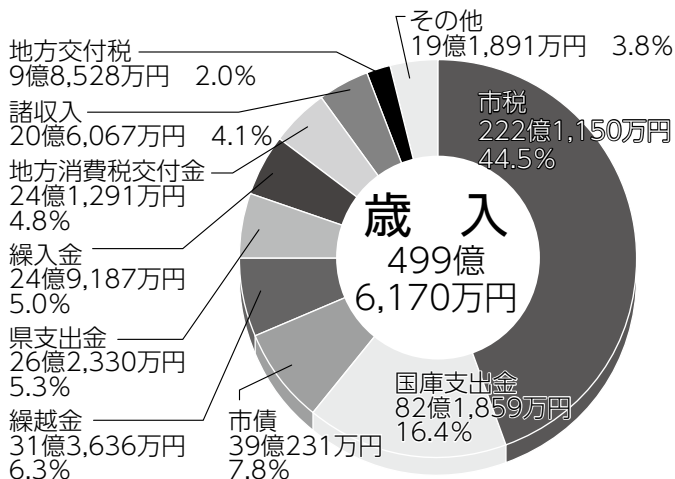
最終結論を出す本会議では、常任委員長が委員会の審査内容を報告し、採決の結果、議案第44号は全議員賛成で可決しました。

# 平成30年度決算を認定 税金の使い方を確認しました



総合防災訓練(栄中学校)

議案第55号「平成30年度三郷市一般会計歳入歳出決算認定について」では、決算額は、歳入499億6,170万円(前年度比1.7%増)、歳出473億7,704万円(前年度比3.0%増)となりました。この議案は、本会議での上程説明及び質疑を行った後、各常任委員会で審査されました。その要旨をお知らせします。



歳入区分	説明
市 税	市民税、固定資産税など
国 庫 支 出 金	特定の事業のために国から交付
市 債	市の長期にわたる借り入れ
繰 越 金	前年度一般会計からの繰り越し
県 支 出 金	特定の事業に対して県から交付
繰 入 金	基金や特別会計からの繰り入れ
地方消費税交付金	県の地方消費税収入の中から交付
地 方 交 付 税	財政状況に応じて国から交付



ふるさと納税返礼品で人気の枝豆収穫体験

消防団員は今年4月1日現在、360人の定数に対して316名であり、充足率は87・8%である。また、消防庁主催の消防団PRムービー

**航空写真を利用して  
固定資産を調査**  
《総務常任委員会》

固定資産(土地)の調査及び評価事業では、毎年、航空写真を撮影し、土地の利用状況や家屋の新築・滅失などの異動を判読する作業を委託している。撮影した写真データは課税資料として活用するほか、庁内の地理情報システム(GIS)に提供しており、関係課において業務に活用している。

コンテストに応募した三郷市の動画は、職員研修の際に活用するなどして、入団促進につなげていきたいとのことでした。

**振り込め詐欺対策の  
通話録音機器を貸し出し**  
《市民福祉常任委員会》

通話録音機器の貸し出しは、平成27年度から始めた事業であり平成30年度までの4年間で合計98台を購入し、貸し出しを行った。今年度新たに約100台購入し、あと30台程度貸し出しができる状況である。

障がい福祉事業で行っている移動支援は障がい者の社会参加の促進を目的にしており、映画や演劇の鑑賞などにも利用できる。しかし、病院や学校への移動など定期的なものについては、居宅介護の通院等介助の制度があるため、そちらを利用していただいている。

ファミリー・サポート・センターの依頼会員、提供会員の募集については、様々な場

**ふるさと納税返礼品の  
地場産品について今後の展望**  
《文教経済常任委員会》

観光振興事業では、ふるさと納税返礼品として、「枝豆収穫体験」が人気であることから、今後、観光農園と連携した返礼品について検討する。

文化財調査・保護事業では、市内7か所には、地下に遺跡があると推定される包蔵地があり、その土地に家やマンション等を建設する場合、試掘調査を行うことが法律で義務づけられている。昨年度は2回調査を行ったが何も出なかったとのことでした。

観光振興事業では、ふるさと納税返礼品として、「枝豆収穫体験」が人気であることから、今後、観光農園と連携した返礼品について検討する。

文化財調査・保護事業では、市内7か所には、地下に遺跡があると推定される包蔵地があり、その土地に家やマンション等を建設する場合、試掘調査を行うことが法律で義務づけられている。昨年度は2回調査を行ったが何も出なかったとのことでした。

討論として、「地域経済活性化対策としても、費用対効果が見込まない住宅リフォーム助成制度を充実させ、市内業者の支援に予算配分を行うべきであり反対する」などがありました。

## 平成30年度 特別会計決算

5つの特別会計決算は、各常任委員会でも審査し、本会議において認定しました。



### 国民健康保険

歳入 157億 820万円  
歳出 156億 1,730万円

審査では、保険給付費等交付金の保険者努力支援分については、がん検診の受診率、糖尿病重症化予防、後発医薬品促進の取り組み、医療費通知、レセプト点検の充実強化が評価される。また、一般会計の繰入金は、一人当たり1万5,125円で県内63市町村中11位になるとのことでした。



### 介護保険

歳入 89億 1,916万円  
歳出 85億 529万円

審査では、ケアプランの居宅サービス計画の市への届け出は、厚労省の定める回数以上のサービスを位置づけたものについて、市町村に届けることになっているが、本市の場合、昨年度は3件の届出があったとのことでした。



### 後期高齢者医療

歳入 14億 564万円  
歳出 13億 5,336万円

審査では、75歳以上の一人あたりの医療費は、86万9,949円で昨年度と比べると1.8%の減少であったとのことでした。



### 上水道事業

※ 歳入 32億 7,020万円  
歳出 38億 1,675万円

審査では、応急給水の場所は、水道部と埼玉県新三郷浄水場のほか、東京都の水道局と協定を結び、三郷浄水場の敷地の一部、国道298号の花和田交差点の近くにあるとのことでした。

討論として、「会計方式を変えておらず、依然として市民ニーズに答えきれていないことから反対する」などがありました。

※決算額は収益的収支と資本的収支の合計額です。

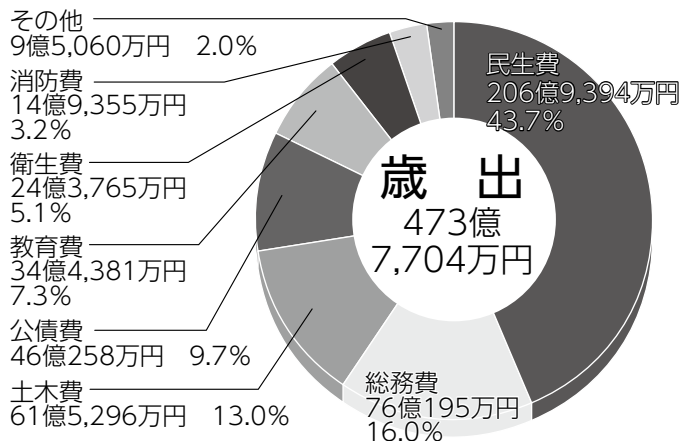


### 公共下水道事業

歳入 49億 6,775万円  
歳出 47億 4,262万円

審査では、住民の負担を軽減させるための補助として、接続において、宅内の下水道の排管工事を行う際に、費用の一部を補助する、いわゆる「水洗化ローン」という制度があるとのことでした。

討論として、「さらなる国からの補助を求めるとともに、企業会計移行により使用料として市民への負担増が懸念されることから反対する」などがありました。



歳出区分	説明
民生費	老人福祉費、保育所費、生活保護など
総務費	防災や防犯、住民票の交付、選挙費など
土木費	道路や河川、公園整備など
公債費	市債の返済
教育費	学校教育費、体育施設の管理・運営費など
衛生費	ゴミの収集や予防接種など
消防費	消火・救急活動など
その他	議会費、商工費、農林水産業費など



新しくなった早稲田公園の遊具

### 不法投棄物の処分量が減少

《建設水道常任委員会》

不法投棄監視パトロール事業及び道水路上の不法投棄物撤去事業では、傾向から重点地区を定めてパトロールをした結果、前年度と比べ、約3トンの不法投棄物処分量の減少を図ることができた。

耐震診断・耐震改修費用等助成事業では、分譲マンションの耐震診断は平成28年度からはじめ、現在8棟診断をした。都市公園等維持管理事業では、公園施設長寿命化計画の計画期間である平成29年度からの10年間で、計画的に毎年3〜4公園程度を目標に遊具更新を図るとのことでした。

た。

討論として、「小学校など義務教育施設のペランダの手すりなど老朽箇所の調査・整備、水路改修事業の事業推進、市営住宅の維持など、市民要望に対してさらなる改善を求め反対する」などがありました。



建設が進む江戸川新橋

市政に対する

# 一般質問

— 質問議員 —

柳瀬 勝彦	鳴海 和美	佐藤 睦郎	佐々木 修
佐藤 裕之	渡邊 雅人	野村 浩之	鈴木深太郎
深川 智加	佐藤 智仁	工藤智加子	稲葉 春男
柴田 吾一	加藤 英泉		

市民の要望を市政に反映させるための一般質問は、各種の行政課題を取り上げて、4日間にわたり14人の議員が活発な論戦を展開しました。

※記事掲載は順不同。内容は一部抜粋しています。

## 健康マイレージ事業の

### 拡充を



ウォーキングで健康づくり

#### 議員

「健康マイレージ」は、ウォーキングをしながらポイントを貯めて、ポイント数に応じて抽選で賞品が得られる、健康増進のための事業である。より多くの市民が参加し、楽しく健康づくりに励んでいただけるよう取り組みの強化が必要と考える。例えば、商店や飲食店などから、割り引きや景品の提供などの協力をいただき、参加者に特典を付与すれば、市民の意欲を高めることにつながると思われる。そこで、健康マイレージに協賛していただける事業者を募集することについて伺う。

#### 市民生活部長

健康マイレージ事業の普及に向けては、昨年度実施した「お笑い健康フェスタ2018」など、多くの市民が集まるイ

ベントの際に、歩数計を直接お渡しする申込会やボーナスポイントの付与などの取り組みを行っている。協賛事業者の募集は、市民の登録者数を増やすうえで大変有効であり、地域の活性化にもつながるので、健康マイレージの送信端末を設置している市内の商業施設などと連携し、検討していく。

#### その他の質問

選挙管理問題など。

### 医療的ケア児とそのご家族の声を聞いて

#### 議員

医療的ケア児を訪問している看護師や当事者の母親と懇談をしてきたが、医療的ケア児を含め、障がい児を受け入れる保育園が全

くない、または不足している。同世代の子どもたちとの交流もなく、発達を保障されていない環境で成長せざるを得ない現状がある。「障がい児の受け入れを現行の2か所だけでなくもっと増やしてほしい」、「時間も通常の子どもたちと同じにしてほしい」など要望がある。また「この先、小学校

も同じような対応になるのか。対応してもらえない市に引越しを検討しなければいけないか悩んでい

る」との声もあるが対応は。子ども未来部長 すでに実施している市川市と坂戸市では、入園を希望する医療的ケア児は集団保育が可能であり、中程度の障がいであったことや、医療的ケア児を預かるための専任の職員が確保できたため受け入れを行ったとのことであった。また、児童の急変等の対応を含め、保育所・保護者・主治医が十分に連携協力することや、担当看護師がいない日は保育所では預からないなど、保育体制の確立が必要とのことであり、これらを踏まえ、引き続き調査・研究していく。

#### その他の質問

難病支援についてなど。

### ◆議会の詳細は「会議録」で

三郷市議会ホームページまたは、市役所内の市政情報コーナー、図書館などで「会議録」を閲覧することができます。なお9月定例会の会議録は11月下旬に更新する予定です。

▶会議録速報版を公開…閉会から1か月を目安に、ホームページにてPDF形式で公開していますので、ご覧ください。

URL <https://ssp.kaigiroku.net/tenant/misato/SpTop.html>

三郷市議会 会議録

検索

## 公用車のドライブレコーダーを動く防犯カメラとしては



公用車のドライブレコーダー

**議員** 痛ましい多重衝突事故や悪質なおり運転が多発しており、公用車がこのような事故に遭遇し、巻き込まれる可能性もある。また、事故後は責任の明確化を図り、職員の安全意识とマナーを向上するほか、警察や消防にドライブレコーダーの映像提供を要求されることもある。公用車のドライブレコーダーは、走行中に市民が巻き込まれる事故・事件を記録するなど、動く防犯カメラの役割を担うこともある。ドライブレコーダーの活用用途を考慮し、青色防犯パトロール用車両を含め、公用車も装着数

を増やす必要があるのではないか。

**企画総務部長** 本市が管理している公用車の装着率は、44・3%であり、できる限り早期に、青色パトロール車を含め、ドライブレコーダーを装着した公用車を増やすよう努めていく。また、記録映像が市内で起こる事件・事故の解決に向け、有力な物的証拠として活用されるケースも実際にある。さらに事故映像については、市職員向けの安全運転研修での教材として活用しているところである。

**その他の質問** 環境対策。

## ひきこもり支援の相談窓口設置について

**議員** 平成30年の調査で40歳から64歳までのひきこもりは、61万3000人いることが推察され「8050問題」として浮き彫りになった。ひきこもりの問題は、要因や環境が様々で複雑な背景を抱えているため、当事者や家族に対し長期的な支援が必要である。三郷市としても地域共生社会の実現に向け、専門の相談窓口設置とアウトリーチ支援に取り組むことについて伺う。

**福祉部長** 本市では、障がい福祉課、ふくし総合相談室、健康推進課等において、精神保健福祉士、社会福祉士、保健師等の専門職員が対応し、複数の部署で相談ができる体制となっている。また、必要に応じ、草加保健所「ひきこもり専門相談」に連絡する等、連携を図っている。「ひきこもり相談窓口」の設置や、「アウトリーチ型の支援方法」については、先進事例を研究し、関係部署と連携しながら検討していく。

**その他の質問** 道路問題など。

## 介護は突然訪れる…介護保険制度の「いろは」

**議員** 介護が始まる主な原因は、認知症・脳血管疾患・転倒による骨折が上位を占めることから、介護のほとんどは、ある時突然訪れてしまう。介護保険制度の概要と手順について伺う。

**福祉部長** 連絡や相談について、まずは市役所の長寿いきがい課、ふくし総合支援課または、市内6地区ごとの地域包括支援センターが窓口になる。申請については、本人以外、家族でも申請でき、時期と

しては、退院の目途がたったころが望ましいが、介護が必要となつてからでも可能である。申請後、おおむね2〜3日後に訪問調査日程についての連絡を行う。調査の際は、普段の困りごとなどを具体的に伝えたい。介護保険の支給限度額については、要介護度ごとに、1か月に利用できる介護サービスの料金の上限値があり、利用料の1割〜3割を収入に応じて負担いただき、限度額を超えた分は全額自己負担となる。「ともに

は全額自己負担となる。「ともにはぐくむ介護保険」「介護保険ハンドブック」等を配布し、制度の周知とわかりやすい説明をするよう努力している。

**その他の質問** 環境整備政策。



三郷市の介護保険ハンドブック

## 道路の安全対策について

**議員** 7月12日に中央1丁目付近

で中型貨物車と、原動機付自転車衝突し、原動機付自転車を運転していたかたが亡くなるという事故があった。安全対策の観点から、交通事故の無い安心で安全な生活を送ることができるよう、道路環境の調査と整備について伺う。

**環境安全部長** この事故を受け、埼玉県警察、吉川警察署及び市において、事故現場の診断、協議を行い、既存の外側線への破線の追加や、「交差点注意」の路面標示の新設、道路反射鏡の共架金具を改善し、見通せる範囲を広げるなど、事故の再発防



止対策を行う。道路環境の調査、整備については、滋賀県大津市での保育園児らの列に車が飛び込んだ事故を受け、保育施設の散歩コース及び小・中学校の通学路について緊急点検を実施した。現在、関係部署と連携し、各所における改善方法などについて検討しており、今後、緊急性が高い箇所から、順次、ガードポールなどの交通安全施設を設置するなどの対策を講じていく。

## 高次脳機能障害にまつわる施策について

**議員** これまで高次脳機能障害者

とそこご家族をはじめ、支える側の方々への支援体制の構築に市としてご尽力いただいていた。より一層の充実を図るため、高次脳機能障害者を支える環境のうち「医療と福祉の連携」「地域包括ケアシステム」「意思疎通支援事業」の3点についての現状と今後の展望を伺いたい。また、この3点については今後の支援において非常に重要な役割を果たすことから、地域定着支援に不可欠な相談支援専門員のかたなどからもご協力をいただきながら適切、迅速な支援を受けられる環境整備

を進めるべきだが考えは。

**福祉部長**

入院時には障がい判明しづらいこともあり、障がいの特性に応じた退院後の支援について周知を図るとともに、引き続き医療と福祉の連携を図っていく。「地域包括ケアシステム」については、ご本人、ご家族、支援者等のご意見を踏まえて検討を進めていく。「意思疎通支援事業」については、今後、具体的なニーズを聞き取るなど適切な支援について検討していく。

**その他の質問**

地域活性化施策など。

## スマートICフルインターの早期実現を

**議員**

都市計画道路三郷流山線及び江戸川新橋は、県道草加流山線の慢性的な渋滞解消と災害時における避難道路として、重要な役割を担う道路であり、早期開通が北部地域の念願である。また、同時にスマートIC(インターチェンジ)フルインター化整備事業計画で都市計画道路越谷流山線に接続するアクセス道路の整備計画が示されており、近隣住民からは住環境などいろいろな面から早めに計画を提示して

ほしいとの声が寄せられている。そこで、三郷料金所スマートICフルインター化の早期実現とアクセス道路の今後の見通しについて伺う。

**市長**

スマートICのフルインター化は国による事業化の採択と、できるだけ早い時期の供用開始を目指して協議を進めていく。アクセス道路の整備については、今年度は、用地測量業務等を実施し、令和2年度は用地取得に着手する予定である。

**まちづくり推進部長**

引き続き関係機関と協議を行い、適切な時期に住民説明会を実施し、早期実現に向け事業を進めていく。

**その他の質問**

公園問題。

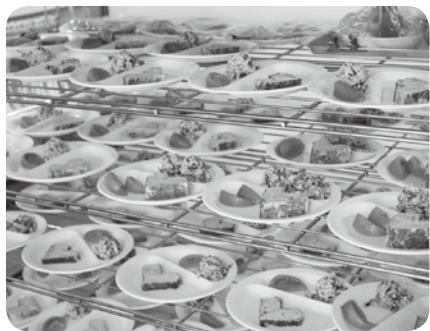




## 幼児教育・保育の無償化と給食費について

**議員** 10月から幼児教育・保育無償化が始まる。その財源は消費税

であるにもかかわらず、待機児童は恩恵を受けられない。とり残されてしまうかたを生まぬよう強く求める。国は年収360万円相当の世帯までは副食費を免除するが、その境界に近い低所得世帯への副食費の負担を強いることは子育て支援に逆行する。全国で少なくとも100を超える自治体で無償にすることが明らかになった。①保育所の給食は食育であることから、給食費の無償化の検討を求めるが、見解は。②自治体が運営する公立保育所の廃園・民営化が懸念され



保育園の給食（おかず）

ている。公立保育所の存続を求めるが、市長の見解は。

**市長** ①食事代については全国的に自己負担とする取り扱いとされていることから今後の無償化の拡充については、国や近隣他市の動向を注視していく。②公立保育所は、本市における保育の基幹的な施設としての役割を担っており、民間保育施設との連携を含め、市内全体の保育の質の向上にとって重要なものと考えている。

**その他の質問** 環境問題など。

### 無料低額診療事業

#### 薬代の助成を

**議員** 現在、無料低額診療事業で院外処方箋が対象外となっております。処方箋を受けても経済的な理由で薬が受け取れない可能性があることが問題となつている。無料低額診療事業の薬代は、国保一部負担金の減免制度を活用しているとのことであるが、減免申請から決定までに長い時間がかかった場合、健康・生命に関わることも懸念される。そこで、①一部負担金の申請に関する期日は。②薬代の助成について伺う。

**市民生活部長** ①申請後、被保険者の生活状況等を伺う面談を行い、審査後に減免が決定するまで1週間程度かかる。②院外処方時の薬代の助成は、国民健康保険制度にはなじまないものである。

**福祉部長** ②事業の対象者は、加入している医療保険も様々で無保険のかたもいる。また、後期高齢者医療制度の中で助成するには、実施医療機関ごとに対象の基準が異なるため、公的な補助には様々な課題整理が必要である。相談の内容に応じて必要な窓口や支援制度につなぐ対応をしていく。

**その他の質問** 子育て支援など。

### 児童虐待は早期発見と伴走型支援の継続を

#### 継続を

**議員** 厚労省のまとめによると、2018年度の児童虐待の相談・通告に対応した件数は過去最高となった。埼玉県警の報告では、今年上半年期に対応した児童虐待は、4241件であり、2011年以降で最多を更新した。報道で取り上げられているような痛ましい事件を二度と繰り返さないために、深刻なケースを教訓にした対応が



子育て支援ステーションほほえみ

求められている。政府は親による子どもの体罰を禁止する「改正児童虐待防止法」を施行するとしているが、家族の孤立化を防ぎ、体罰に頼らない子育て方法や生活状況や年齢の変化に応じた支援に配慮されるよう伴走型支援が必要ではないか。市の取り組みを伺う。

**子ども未来部長** 市では、児童虐待をできるだけ早期に把握できるように、「乳児家庭全戸訪問事業」や「未就園児等全戸訪問事業」を実施している。さらに、「子育て支援ステーションほほえみ」、市内9か所の「子育て支援センター」及び「つどいの広場」では、子育てなどの相談を受けるなど、一人ひとりに寄り添った支援を行っている。

**その他の質問** 公共施設など。

## 草刈りは年に最低3回を

**議員** 二郷半用水緑道は、多くの市民に散歩コースとして愛されている。現在では、高齢者用健康器具の設置や休憩所への防犯カメラの設置、夜間は木々を照らすライトアップもされ、より環境に配慮された整備がなされている。しかし、9月ごろは雑草が繁茂している状態である。①草刈りは、年3回以上行い整備すべきでは。②二郷半用水の最下流部の池について、ヘドロ回収を。③戸ヶ崎(大道西)の私道について、抜け道として交通量も多い路線は市道にするなど対策を。



二郷半用水沿いの緑道

**まちづくり推進部長** ①二郷半用水緑道の草刈りについては、現在、業者に委託し、おおむね年2回実施している。市職員による草刈りを実施するなど、適正な管理に努めていく。

**建設部長** ②池の調査を実施し、構造の改善など方策を検討する。③現状では道路幅員など認定基準に満たない私道が多く、市道として認定することは困難である。今後、地域の総合的な状況を踏まえ、調査、研究していく。

**その他の質問** 市政についてなど。

## 新たな中央図書館の設置について

**議員** 日本一の読書のまちを標榜している割には市立図書館の書籍数は少なく、新書も少なく、教育、文化、教養の礎としての図書館の魅力を感じない。地方でも図書館を駅近くに設けている自治体も多く、また、本は買うよりも、借りやすさや返しやすさが優先される。三郷中央駅の駅前広場とバスターミナルとタクシープールを利用した複合ビルを建築し、上層階には図書館をはじめ、飲食店、生活用品の店舗等を

入居させ、便利なまちのイメージアップを図ってもよいのではないか。まちの成熟とともに、児童から高齢者にも対応した図書館を目指し、第5次総合計画に盛り込み、早期の実現を望むが市の考えは。

**教育長** 近年、パソコン、スマートフォンを利用した、「三郷市図書館ウェブ予約システム」の利用が大きく伸び、予約全体の約7割を超える状況である。この新たな市民ニーズに対応するため、本年8月に三郷中央におどりプラザ内に「予約図書受取カウンター」を開設した。今後は予約図書受取カウンターを新たなサービスの拠点とし、引き続き既存のネットワークを活用するとともに、さらなる充実を進めていく。

**その他の質問** 人口問題など。

## 日本一の読書のまちPRと目玉政策

**議員** 先ごろのイベントでブックエクスチェンジのギネス世界記録を達成したが、「これが日本一なんだ！」というような目玉政策として、例えば、読書通帳の導入、ふるさと納税の使途に読書行政を追加、学校との強力な連携、にぎわい創出型



こども司書による読み聞かせ

図書館の建設などを行ってはどうか。

**生涯学習部長** 目玉政策については、現在「日本一の読書のまち宣言」に基づいて、4か月検診時に絵本をプレゼントするブックスタート、子ども司書の育成、秋の読書まつりなどを実施している。このほか、読書ノートの配布、大人のためのお話し会、高齢者のかたに思い出を語っていただく会など、各世代を対象とした読書事業を実施し、日本一の読書のまちの醸成に努めているところである。今後も、他自治体の取り組み事例について、引き続き調査、研究していく。

**その他の質問** 災害対応についてなど。

## 議案第50号 令和元年度三郷市一般会計補正予算(第3号)

◇補正予算に盛り込まれた主な事業◇

## 路線バス確保維持事業

**内容** 廃止が予定されている民間バス路線について、市が運行を業務委託することにより継続を図るため彦成地区の路線バス確保維持事業を実施する。総額2億7000万円(令和6年度までの債務負担を含む)。

- Q** 今後のスケジュールと事業の経緯を詳細に。
- A** 10月中に法定協議会である三郷市地域公共交通活性化協議会に、次期バス事業者の具体的な運行の内容を報告した後、関東運輸局に許可申請を行う予定である。新たに運行する路線バスの便数や時間帯などの具体的な内容については、今後、次期バス事業者と協議をしていく。
- Q** バスの本数、最終便含む時間帯、コース、料金などについて、委託業者に要望できるのか。
- A** 現在は始発便が三郷駅・新三郷駅5時55分発であり、最終便が三郷中央駅20時18分発となっている。市民の生活スタイルからすると、もう少し夜遅い時間まで増やした方がいいと考える。こういった具体的な内容を今後協議する。最低ラインとしては、既存の本数である1日当たり19.5便を確保できるよう時刻表を作成し、さらに企業努力で増やしていけるよう協議の中で決めていきたい。まずは既存のバス路線を守るということから、事業名を「路線バス確保維持事業」としている。
- Q** バス事業は最初の5年間は業務委託で行うのはよいとして、5年目以降はどうするのか。
- A** バス事業者が企業努力で自主運行をできるように指導していきたい。



JR三郷駅南口バスロータリー

## ブロック塀等の安全確保事業

**内容** 当初予算よりも補助申請件数が増えたことに伴う、増額補正(300万円)。

- Q** 増額の理由と事業の実績について詳細に。
- A** 当初予算で見込んでいた10件の補助件数に対して、通学路沿いが9件、緊急輸送道路沿いが1件、計10件の申請を受け付け、危険ブロック塀等の改修などを進めている。市民のかたから、さらに9件の問い合わせをいただいていることから、今後の申請等に対応できるよう予算を増額補正するものである。
- Q** 危険箇所を解消するための対策は。
- A** 危険箇所の解消対策としては、事前調査において通学路で47件、緊急輸送道路で44件を把握していることから、所有者への戸別訪問を随時実施している。

## 森林環境譲与税(歳入)



幸房小学校図書室

**内容** 温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止等を図るため、森林整備等に必要な地方財源を安定的に確保する観点から創設された森林環境税を財源として、国から譲与されるもの。市では全額(525万円)を公共施設整備基金に積み立てる。

- Q** 令和6年度から個人住民税に1,000円が課税される森林環境税について、法律等が定める年限はあるのか。また、その使い道についての周知はどのように考えているのか。
- A** 森林環境税については、税額が1,000円であり、年限についての情報は今のところない。また、森林環境譲与税の用途については、学校校舎の木質化などの財源にすることが想定される。周知についてはインターネットなどを利用して適切に行いたい。

# 9月定例会の審議結果と賛否をお知らせします

○ = 賛成 × = 反対

号	件名	結果	21世紀	政志会	公明党	共産党	市民派
39	専決処分の承認を求めることについて	承認	○	○	○	○	○
40	三郷市会計年度任用職員の報酬等に関する条例	可決	○	○	○	○	○
41	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	可決	○	○	○	○	○
42	三郷市手数料徴収条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○
43	三郷市印鑑条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○
44	三郷市ふれあい館設置及び管理条例	可決	○	○	○	○	○
45	三郷市地域型保育事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○
46	三郷市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○
47	三郷市公共下水道使用料条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	×	○
48	三郷市建築基準法の規定に基づく建築物の建築等に係る確認申請手数料等の徴収に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○
49	三郷市水道事業給水条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○
50	令和元年度三郷市一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○
51	令和元年度三郷市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○
52	令和元年度三郷市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	×	○
53	令和元年度三郷市介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○
54	令和元年度三郷市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○
55	平成30年度三郷市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	×	○
56	平成30年度三郷市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	×	○
57	平成30年度三郷市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	×	○
58	平成30年度三郷市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	×	○
59	平成30年度三郷市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	×	○
60	平成30年度三郷市上水道事業特別会計未処分利益剰余金の処分及び決算認定について	可決及び認定	○	○	○	×	○
61	教育委員会教育長の任命について	同意	○	○	○	○	○
62	教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○

※このほか報告24件が提出されました。

会派名(人数)	所属議員名
21世紀クラブ(7)	菊名 裕(議長)、岡庭 明、市川 文雄、加藤 英泉、柳瀬 勝彦、柴田 吾一、渡邊 雅人
政志会(5)	篠田 進、武居 弘治、佐藤 裕之、佐々木 修、野村 浩之
公明党(5)	酒巻 宗一、中野 照夫、鈴木 深太郎、佐藤 陸郎、鳴海 和美
日本共産党(4)	稲葉 春男、工藤 智加子、佐藤 智仁、深川 智加
市民派クラブ(1)	村上 香代子

※議長は採決に加わっていません。



# 議会を傍聴しませんか

議会傍聴は、議会活動に触れる最も身近な方法です。  
 本会議や委員会では、市民の皆様の生活に直接関わる重要な問題について、活発な議論が交わされますので、市政への理解を深めていただくためにも、市議会の傍聴をしてみませんか。

お問い合わせ 議会事務局 ☎048(930)7768



## 議会傍聴Q&A

Q. 議会を傍聴したいのですが、どのような手続きをするのですか。

A. 本会議は原則として、どなたでも傍聴ができます。通常は午前10時から会議が開かれますので、7階傍聴席入口で住所・氏名を記入してから傍聴してください。

なお、委員会の傍聴は委員長の許可が必要となり、6階議会事務局で受付します。

Q. 車椅子でも、議会の傍聴はできますか。

A. 車椅子のかたのためのスペース（3席）があります。

## 令和元年12月定例会の日程表

月日	曜日	会議別
12月2日	月	本会議
12月4日	水	
12月5日	木	委員会
12月10日	火	本会議 (一般質問など)
12月11日	水	
12月12日	木	
12月13日	金	

※正式には、市長の招集告示を受け、議会運営委員会を経て、開会日の本会議で決定します。

### 傍聴のルール

- (1)騒ぎ立てたり、拍手をするなど可否を表明したり、迷惑となるような行為をしないでください。
- (2)みだりに立ち上がるなど、威圧的な行為をしないでください。
- (3)携帯電話・カメラ・録音機等は使用できません。(電源オフ)
- (4)飲食または喫煙をしないでください。
- (5)その他、議場の秩序を乱し、または会議の妨害となるような行為をしないでください。

※傍聴されるかたは、すべて議長、または係員の指示に従ってください。

※次回の定例会は12月に開かれます。10時から開会となります。

## 永年勤続議員表彰

全国市議会議長会及び埼玉県市議会議長会の定期総会において、永年勤続議員として、地方自治の伸長発展、市政の向上振興に貢献された功績に対して、表彰されました。



いなば はるお  
稲葉 春男

全国市議会議長会 (議員歴35年)  
埼玉県市議会議長会 (議員歴35年)



おかにわ あきら  
岡庭 明

全国市議会議長会 (議員歴25年)  
埼玉県市議会議長会 (議員歴25年)

## 人事案件

再 権貝 明子氏  
とに同意しました。

(東町)

▽教育委員会委員を任命することに同意しました。

再 有田 るみ子氏  
とに同意しました。

(早稲田五丁目)

▽教育委員会教育長を任命することに同意しました。

# 第1回臨時会

## 正副議長を選出 8/7

議長に

菊名きくな

裕ゆたか 議員

副議長に

村上香代子むらかみかよこ 議員

第1回臨時会は、議案第38号「町の区域を新たに画することについて」の審議をはじめ、議会人事として議長選挙、副議長選挙、常任委員会委員の選任などを行いました。

### 東埼玉資源環境組合議会議員

東埼玉資源環境組合議会議員として、菊名裕議員に代わり加藤英泉議員を新たに指名推選しました(篠田進議員と酒巻宗一議員は継続)。

この組合は、越谷市、草加市、八潮市、吉川市及び松伏町で組織し、し尿処理場、ごみ処理場の設置及びその管理に関する事務を共同処理するものです。

### 江戸川水防事務組合議会議員

江戸川水防事務組合議会議員として、柳瀬勝彦議員、佐藤

睦郎議員、佐藤智仁議員を新たに指名推選しました。

この組合は、三郷市、春日部市、松伏町及び吉川市で組織し、江戸川右岸の水防に関する事務を共同処理するものです。

### 議案と結果

議案号	件名	結果
38	町の区域を新たに画することについて	全議員賛成
2	議長の選挙について	投票
3	副議長の選挙について	投票
4	東埼玉資源環境組合議会議員の選挙について	推選
5	江戸川水防事務組合議会議員の補欠選挙について	推選
1	議会運営委員会委員の選任について	指名
2	常任委員会委員の選任について	指名

### 議長選挙の開票結果

菊名 裕：12票  
武居弘治：10票

### 副議長選挙の開票結果

村上香代子：12票  
無効：10票

## 委員会の構成員が変わりました

三郷市議会には、議会運営委員会、常任委員会が設置されており、任期は2年となっております。第1回臨時会において各委員をそれぞれ選任しました。各委員会の審査内容と構成は次のとおりです。

◎委員長 ○副委員長

### 総務常任委員会

総合政策、財政、市税、情報公開、男女共同参画、消防、他の常任委員会に属さないもの

◎稲葉 春男  
◎柴田 吾一  
◎菊名 弘裕  
◎武居 弘治  
◎佐々木 修  
◎鈴木 深太郎

### 議会運営委員会

議会運営を円滑に行うために、定例会や臨時会の会期日程や会議の進めた方のほか、議長の諮問事項を協議します。

◎岡庭 文明  
◎市川 英泉  
◎加藤 裕進  
◎篠田 裕進  
◎佐藤 宗一  
◎酒巻 宗一  
◎中野 照夫  
◎工藤 加子

### 市民福祉

#### 常任委員会

住民記録、国民健康保険、福祉政策、介護保険、子育て支援、健康づくりなど

◎工藤 智加子  
◎柳瀬 勝彦  
◎佐藤 裕一  
◎酒巻 宗一  
◎鳴海 和美  
◎村上 香代子

### 文教経済

#### 常任委員会

学校教育、生涯学習、環境交通対策、防災、商工観光、農業など

◎市川 文雄  
◎渡邊 雅人  
◎篠田 陸進  
◎佐藤 智加  
◎深川 智加

### 建設水道

#### 常任委員会

道路、河川、上下水道、都市デザイン、公園、区画整理、まちづくりなど

◎加藤 英泉  
◎佐藤 智仁  
◎岡庭 浩明  
◎野村 照夫

議長・副議長就任のあけむし

# 「開かれた議会」をめざして



議長  
菊名 裕



副議長  
村上香代子

市民の皆様には、日頃より市議会に対しまして、深いご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

このたび、私たちは8月7日の臨時会におきまして三郷市議会の第37代議長、第36代副議長に就任いたしました。この上なく光栄に存じますとともに、その責任の重大さを痛感し、身の引き締まる思いであります。議会の代表として公正かつ円滑なる議会運営と市政発展に全身全霊を傾ける所存であります。

今後も誰もが安心していきいきと暮らせるまちづくりに向け、市民の声に真摯に耳を傾け、活発な議論を行い、開かれた議会を目指してまいります。市民の皆様には、一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。



## 議会あれこれ

### 陳情を受理

- 9月定例会では、陳情2件を受理しました。

### 特別委員会の動き

- 9月定例会では、「三郷早稲田北部地域拠点整備対策」「三郷南部地域拠点整備対策」「三郷インターチェンジ周辺対策」「三郷中央地区周辺対策」の4つの特別委員会を設置しました。

### 視察研修を行いました

- 公明党三郷市議団**…10月23日に新潟県魚沼市の「行政ポイント制度」、24日に燕市の「特色ある教育施策」、25日に新潟市の「新バスシステム」について。

- 政志会**…10月30日・31日に高知県高知市で開催された第14回全国市議会議長会研究フォーラムに参加しました。

### 他市からの行政視察がありました

- 「**三郷中央地区のまちづくり**」について…7月23日に茨城県つくば市議会都市建設委員会。
- 「**日本一の読書のまち推進事業・動物の愛護及び管理条例に関する条例**」について…8月22日大阪府豊中市議会議員。
- 「**日本一の読書のまち推進事業**」について…10月7日に千葉県香取市議会福祉教育常任委員会、10月8日に長崎県大村市議会みらいの風。
- 「**防災対策**」について…10月7日に福島県西会津町総務常任委員会。



**交通網**

中央在住 40代 会社員

三郷市は市内に鉄道の駅が3駅もあり、どこへ行くにも便利です。私は身体の事情により車を運転することができないので、電車で都内へもすぐ出ることができる三郷市は大変便利だと感じます。町並みも落ち着いており、子育てや老後の生活には最適な環境で、大変住みやすく思っています。しかしながら、ひとつ欠点を挙げるとするならば、バス路線が充実していないことです。駅周辺の施設に行く際は問題ありませんが、駅から離れた施設などに行く際に、車でないと行きづらく感じます。市内のいたる所へ行くことができるようにバス交通が充実し便利になってほしいと心から思います。

**本を楽しめる環境作りに期待します**

戸ヶ崎在住 40代 主婦

読み聞かせボランティアを長くやっています。子ども達に接すると逆に元気をもらえて毎回楽しみです。絵本を読み聞かせることで、子ども達に夢や希望、本の面白さを伝えられたらと思います。三郷は「ブックスタート」や、「ランドセルブックよもよも」などを通じて、読書に親しむ習慣を小さい頃から与えていることは素晴らしいことだと思います。本は主に市内の図書館を利用していますが、なかなか良い本が見つからないときは足を延ばして水元や金町駅前の図書館に行きます。市内で大きな図書館が近くにないことが不便かなと思います。子ども達も大人も本を手にとって楽しめる図書館が近くにあればと思います。



シルバー元気塾特別講座

**議会だより編集委員会**

見やすく、わかりやすい紙面で、議会だよりが身近なものになるよう、編集委員一同努めてまいります。

委員 鳴海和美

委員 野村浩之

委員長 柴田吾一

副委員長 深川智加

議長 菊名裕



編集委員会新メンバーをご紹介します

みさと市議会だより(第179号)  
発行 三郷市議会  
編集 議会だより編集委員会  
〒341-8501  
埼玉県三郷市花和田648-1  
TEL 048-9300-7768(直通)  
FAX 048-9503-13588  
URL: <http://www.city.misato.lg.jp>

